医療情報システムの更新に係る支援業務委託 調達仕様書

1. 事業の背景と目的

背景:

当院は令和3年4月に導入した現行の医療情報システム（電子カルテシステム、医事会計システム及びこれらと連携する周辺のシステムをいう。）の更新を計画しています。

更新に際しては、現行システムからのスムーズかつ効率的な移行を実現するとともに、厚生労働省が推進する医療DX施策に対応し、同時にサイバーセキュリティ対策の強化も踏まえたシステム構築を計画しており、これらを実現するため、信頼性の高いベンダーを的確に選定することが必要です。

目的:

- 調達費用を低く抑えるコスト最適化の実現
- 国の医療DX施策に対応できるベンダーの選定
- 十分なサイバーセキュリティ対策の実施
- 安全なシステム運用が可能な信頼性の高いベンダーの選定
- 当院職員のスキル向上

2. 対象業務の範囲と内容

対象範囲:

- 更新方針の策定支援
- ベンダーへの資料の招請支援
- ベンダーからの見積の妥当性評価
- 次期システムの調達仕様書の作成支援
- ベンダーからの提案内容の評価

業務内容:

- 上記に関する助言
- 月1回程度の打ち合わせ（オンライン又は必要に応じて現地訪問）
- 必要に応じて随時の電話、メール対応
- ベンダーを含む関係者との対話、調整等

3. 成果物

- 月次の業務報告書
- 更新方針案
- 次期システムの調達仕様書案

4. スケジュール

- 業務委託開始日: 契約締結の日の翌日 (令和7年9月1日頃予定)
- 業務委託終了日: 令和8年3月31日未

5. 評価基準

評価基準:

- 医療情報システムについての深い理解があること。
- 国の医療 DX 施策、サイバーセキュリティに関する知見を有すること。
- 厚生労働省 医療情報システムの安全管理に関するガイドラインについての知見を有すること。

要件:

- 公的医療機関のコンサルティング経験を有すること。
- 専任の担当コンサルタントがプロジェクト開始から終了まで対応すること。
- 担当コンサルタントは医療情報システム業界での10年以上の業務経験を有すること。
- 担当コンサルタントは以下の資格を有すること。
 - 日本医療情報学会上級医療情報技師 (認定番号要報告)

重要視するポイント:

- 担当コンサルタントは公的機関、団体等での医療情報サイバーセキュリティ研修の講師を務めた経験を有すること。
- 担当コンサルタントは以下の資格を有すること。
 - 医療情報安全管理監査人協会認定医療情報システム監査人もしくは監査人補 (認定番号要報告)

6. 業務実施・連絡・報告方法

- 月1回程度の打ち合わせ (オンライン又は必要に応じて現地訪問)
- 必要に応じて随時の電話、メール対応
- その他チャット、メッセージツール等での連絡